

ITF（国際運輸労連）ニュース

Cabin Crew Day 2026 :

客室乗務員は安全のプロフェッショナル — これまでも、そしてこれからも

2026年5月31日



客室乗務員は「安全のプロフェッショナル」です。

飛行中に乗客が倒れたとき、機内に煙が充満したとき、機内で暴力行為が発生したとき、あるいは高度 35,000 フィートの上空で保安上の脅威に直面したとき。

そのような緊急事態に対応するための訓練を受けているのは、客室乗務員です。

彼らは、いわば航空業界の「ファーストレスポnder（第一対応者）」です。救急救命士であり、消防士であり、警察官であり、そして看護師でもあるのです。高度 35,000 フィートの上空において、彼ら以外に頼れる存在はいません。

日々、乗客の命を守り、安全を確保しているにもかかわらず、その専門性や責任の重さは、いまだ十分に認識されているとは言えません。

だからこそ、ITF（国際運輸労連）は、CABIN CREW DAY に客室乗務員が航空業界において担う安全上極めて重要な役割に敬意を表します。そして同時に、その役割を支え団結してきた労働組合の力と連帯に敬意を表します。

航空業界の First responders

すべてのフライトは、「万が一の事態が起きても客室乗務員が対応してくれる」という、確かな安心感のもと離陸します。客室乗務員は、そのための訓練を受けています。

機内での急病人の発生、保安上の脅威、迷惑行為を行う旅客への対応、緊急脱出——。客室乗務員はこうしたあらゆる事態に対し、冷静かつ的確に対応します。それは彼らが安全のプロフェッショナルとしての訓練を受け、その責任を負っているからです。

今こそ、世界は客室乗務員を「安全のプロフェッショナル」として正当に認識すべきです。

連帯の歴史

客室乗務員の歴史は、尊厳、敬意、そして正当な権利を求めて団結してきた歴史と切り離すことはできません。

客室乗務員の労働組合は、これまで懸命に闘い、多くの勝利を収めてきました。

かつて客室乗務員をプロではなく「機内の飾り」のように扱っていた体重や容姿に関する制限を撤廃させたこと。結婚や出産を理由に雇用を失うことなく働き続けられる権利を勝ち取ったこと。

これらの権利は、決して自然に与えられたものではありません。

この団結の歴史は、誇り高いものです。今日、客室乗務員が享受しているあらゆる権利は、前の世代の仲間たちが連帯し声を上げ、粘り強く闘い続けたことによって勝ち取られたものです。

そして今もなお、世界の多くの場所で、こうした闘いは続いています。

私たちが今なお闘っていること

まだやるべきことは残っています。そして、客室乗務員とその労働組合は、今も行動を続けています。

労働組合に加入し、団体交渉を行う権利。より安全な機内環境の実現。乗務員と乗客を危険にさらす機内空気汚染の根絶。人命に影響を及ぼしかねない深刻な疲労問題の解決。客室乗務員の仕事に求められる高度な技能、重い責任、そして専門性にふさわしい社会的評価の確立です。

航空業界はこれからも変化していくでしょう。航空機も、技術も進化していくでしょう。

しかし、決して変わらないことが一つあります。

それは、客室乗務員が「安全のプロフェッショナル」であるということです。

Happy Cabin Crew Day

今日もフライトで乗務している客室乗務員の皆さん、あるいは当然の権利として休暇を取っている皆さん、同僚のために尽力してくださった組合代表の皆さん、そしてこれまで同僚の乗務員と連帯してくださったすべての従業員の皆さん、本当にありがとうございます。

皆さんは安全のプロフェッショナルです。これまでも、そしてこれからもずっと。

今こそ、業界がその事実を真に認めるべき時です。

写真提供：Aviation Wire/AFLO（ロイターコネクト経由）

- ITF 記事 URL

<https://www.itfglobal.org/en/news/cabin-crew-day-2026-safety-professionals-always-have-been-always-will-be>

- 翻訳版動画 URL

（途中、英語以外の言語の時は無音・字幕のみとなります。オリジナル動画は上記記事内から）

<https://www.youtube.com/watch?v=Yobe5IT+3IU>